

お子さまの歯を守るため

まだ歯がやわらかくケアもきちんとできない子どもは、虫歯になりやすいもの。大切な歯を守るため、ご自宅での毎日のケアと併せ、かかりつけの予防歯科をつくるのが重要です。お口のケアの重要性や虫歯のリスクを理解できるようになるまで、お子さまのお口の健康維持をしてあげるのは親の役目です。

当院では、お子さまが歯医者嫌いにならないよう「無痛治療」に取り組むなど、通いやすい雰囲気づくりに努めています。私たちとともに、大切なお子さまの歯を守っていきましょう。



ところで…

子どもはいつ歯医者に連れて行けばいいの？



当院では次の6つの時期を通院のタイミングとしてご案内しています。

1 生後6ヶ月ごろ



乳歯が生え始めたら

乳歯が生えたら、虫歯予防の開始。永久歯より虫歯になりやすい乳歯を守るために、一度ご来院ください。

2 1歳半～3歳ごろ



乳歯が生えそろったら

自治体による歯科検診を受けて、歯並びや虫歯をチェックしてもらいましょう。この時期は歯みがきによる虫歯予防が特に大切です。

3 6歳～12歳ごろ



永久歯が生え始めたら

乳歯と永久歯が入り混じっているこの時期は、歯みがきしにくく虫歯になりやすい時期。フッ素塗布などを受け、虫歯を予防しましょう。

4 小学生～高校生



勉強や読書で集中力が必要になったら

噛み合わせの改善で集中力が高まるケースは少なくありません。見た目の歯並びだけでは判断できない噛み合わせの状態を、専門的な視点によりチェックすることができます。

5 小学生～高校生



スポーツを楽しむようになったら

歯の外傷などを予防する歯科用マウスガードというものがあります。歯をしっかり食いしぼれるため、体の軸も安定し「本来の力を出す」ことができます。当院でも作成する例が増えてきています。

6 受験生



テストや受験に忙しくなってきたら

3ヶ月に1回程度の定期検診で、いざという時に歯痛に悩まされる心配をなくしておきましょう。もし治療が必要な場合で短期間での治療をご希望の場合はご相談ください。